# *Central Weekly Market Report*

2026/11/27
セントラル短資株式会社　総合企画部

## 今週（11月23日から11月27日）の短期金融市場動向

### ●無担保コール市場

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズが堅調に見られ、出合いレートの水準は1.227～1.228%程度で安定的に推移した。

ターム物は、1M以内のショートターム物は先週と変わらず1.30～1.40%程度で出合いが見られた。一方で3M以上のロングターム物は、年末越えかつ12月の日銀決定会合を跨ぐことから目線が徐々に切り上がっており、1.65～1.70%程度での引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、24日（火）に409兆円台後半からスタート。財政資金の引き揚げを主因に徐々に減少し、本日は408兆円程度での着地予想となっている。

### ●債券レポ市場

債券レポ GC T/N物の出合い水準は、1.25%近辺で推移する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y480～490回、5Y170～189回、10Y355～384回、20Y180～198回、30Y65～92回、40Y10～19回などで引合いが多く見られた。

### ●短国市場

短国市場は、6Mゾーン・1Yゾーンが堅調に推移した。

27日に実施された3M物入札では、予想対比で強めの結果となった。結果発表後のセカンダリーでは堅調に推移した。

### ●CP市場

CP市場は、機械・不動産業・食料品など、複数の業態で大型発行が行われた。

市場残高は、26兆円台前半から週を通して徐々に増加し、週末には27兆円台前半まで積み上がった。

発行レートは、12月の日銀決定会合での利上げを織り込んだレートで推移しており、銘柄によって投資家の運用目線にばらつきがみられた。

### ●短期金融市場関連指標

| | 日経平均株価（円） | 新発10年国債利回り（%） | 為替（ドル/円 中心相場） | 無担保コールO/N（加重平均・%） | 東京レポレート（T+1 ON・%） | 日銀当座預金残高（億円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **11/23 (月)** | | | | | | |
| **11/24 (火)** | 58,644.63 | 2.720 | 158.90 | 1.227 | 1.250 | 4,098,100 |
| **11/25 (水)** | 57,011.62 | 2.645 | 159.34 | 1.227 | 1.250 | 4,094,900 |
| **11/26 (木)** | 57,499.16 | 2.635 | 159.20 | 1.227 | 1.250 | 4,089,800 |
| **11/27 (金)** | 58,711.11 | 2.640 | 159.34 | 1.227 | 1.250 | 4,082,100 |

# 翌週（11月30日から12月4日）の短期金融市場動向

## ●経済カレンダー　（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

| | 国内主要経済指標 | 国債等入札予定 | | | 海外主要経済指標 |
|---|---|---|---|---|---|
| **11/30（月）** | *10月の鉱工業生産速報(経産省 8:50)<br>*10月の商業動態統計速報(経産省 8:50)<br>*10月の決済動向(日銀 11:00)<br>*植田総裁挨拶(名古屋懇談会 10:05) | | 2Y物<br>12/1発行<br>28,000億円 | | *11月のシカゴPM景況感指数 |
| **12/1（火）** | *11月の当座預金増減要因実績(日銀 13:00)<br>*債券市場サーベイ(日銀 16:00)<br>*10月の有効求人倍率(厚労省 8:30)<br>*10月の完全失業率(総務省 8:30) | | | | *11月の消費者物価指数(HICP速報値)<br>*11月のISM製造業景況指数 |
| **12/2（水）** | *11月のマネタリーベース(日銀 8:50)<br>*10月の貸出約定平均金利(日銀 8:50)<br>*11月の消費動向調査(内閣府 14:00) | | | | *11月の米ADP雇用統計 |
| **12/3（木）** | *12月の当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) | | 10Y物<br>12/4発行<br>26,000億円 | 交付税借入<br>12/11借入<br>12,000億円 | *11月のISM非製造業景況指数 |
| **12/4（金）** | | TDB3M物<br>12/7発行<br>31,000億円 | | | *11月の米雇用統計 |

## ●資金需給予想

| 単位：億円 | 銀行券要因 | 財政等要因 | 資金過不足 | オペ種類 | 期日分 | 新規実行分 | オペ合計 | 実質過不足 | 需給要因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **11/30（月）**<br>日銀予想 | ▲ 200 | 6,700 | 6,500 | | | | | 6,500 | TDB3M発行▲31,000 償還37,000<br>流動性供給発行▲5,000<br>交付税特会借入▲12,000 償還11,000<br>地方譲与税譲与金 |
| **12/1（火）**<br>弊社予想 | ▲ 600 | ▲ 35,000 | ▲ 35,600 | | | | | ▲ 35,600 | 2Y発行▲28,000 償還20,000 |
| **12/2（水）**<br>弊社予想 | ▲ 800 | ▲ 56,500 | ▲ 57,300 | | | | | ▲ 57,300 | |
| **12/3（木）**<br>弊社予想 | ▲ 1,100 | ▲ 2,500 | ▲ 3,600 | | | | | ▲ 3,600 | 交付税特会借入▲12,000 償還11,000 |
| **12/4（金）**<br>弊社予想 | ▲ 1,500 | ▲ 27,500 | ▲ 29,000 | | | | | ▲ 29,000 | 10Y発行▲26,000 |

## ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き、付利以下の水準では資金調達ニーズがしっかりしており、1.227%近辺での出合いが予想される。債券レポ GC T/N物は、1.24～1.26%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、4日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、2日に五・十日の前倒し発行が予定されており、年末越えのレート水準など動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では30日(月)に10月の鉱工業生産速報、植田総裁挨拶(名古屋懇談会)、1日(火)に11月の当座預金増減要因実績、債券市場サーベイ、10月の有効求人倍率・完全失業率、2日(水)に11月のマネタリーベース、10月の貸出約定平均金利、11月の消費動向調査、3日(木)に12月の当座預金増減要因見込みなどが公表予定である。海外では30日(月)に11月のシカゴPMI景況感指数、1日(火)に11月の消費者物価指数(HICP速報値)、11月のISM製造業景況指数、2日(水)に11月の米ADP雇用統計、3日(木)に11月のISM非製造業景況指数、4日(金)に11月の米雇用統計などが公表予定である。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社　登録金融機関関東財務局長（登金）第526号　日本証券業協会加入